

## 第1969回例会

3月19日(木)雨 / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

### 1. 講話

玉川こども図書館 児童サービスグループ長 山本真理子氏  
「生涯学習を支える図書館」

### 2. 出欠

出席 32名 欠席 20名 出席率 69.57% ビジター 2名

### 3. 来訪者(敬称略)

金沢東RC 忠田秀敏 越原悠三

### 4. 幹事報告

・4月9日(木)は、お花見夜間例会  
・例会終了後、次年度理事会開催

### 5. ニコニコボックス

吉井君、佐賀君  
山本真理子司書のお話、楽しみに  
しています。また、小々高利昭君  
を新会員にお迎えして。

安宅君、中村(實)君  
小々高利昭君の入会を祝して。

小々高君  
暖かくお迎え行きました。有難うございます。  
合計9,000円(累計431,000円)



### 懇談

アトラクション

閉会挨拶

ロータリーソング「手に手つないで」

### 2. 出席

会員 16名 ご家族 8名

## 第1972回例会

お花見夜間例会

4月9日(木)雨 / 18:30 ~ 20:30 [松魚亭]

### 1. 例会

ロータリーソング「我らの生業」

会長挨拶

皆出席顕彰

39カ年 佃 一成君

28カ年 大澤久廣君

誕生日・ご結婚記念日祝い

ニコボックスの披露

歓談

閉会の挨拶 社会長エレクト

手に手つないで

### 2. 出欠

出席 20名 欠席 32名

出席率 43.47% ご夫人 5名

### 3. ニコニコボックス

小泉君 四季の無いバンコクから、桜とお花見例会のために帰って  
きました。日本の良さ、しみじみ感じています。

中浦君 本日も夜間例会でのご利用、ありがとうございます。先日は、  
京都洛北RCのニコボックスの多さに驚きました。

合計4,000円(累計440,000円)



## 第1970回例会

3月26日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

### 1. 講話

金沢市田上公民館 館長 関戸正彦氏  
「参勤交代と北国街道」

### 2. 出欠

出席 35名 欠席 17名 出席率 76.09% ビジター 3名

### 3. 来訪者(敬称略)

金沢東RC 和田清聡  
金沢西RC 中村雅代  
百万石RC 川きみよ

### 4. 幹事報告

・4月9日(木)お花見夜間例会 松魚亭にて

### 5. ニコニコボックス

吉井君、佐賀君、島君  
関戸正彦氏をお迎えして、お話を楽しみにしています。  
合計5,000円(累計436,000円)



## 第1971回例会 京都洛北RC合同例会

4月2日(木)晴れ / 18:00 ~ 20:00 [京都ホテルオークラ]

### 1. <<例会>>

開会点鐘

国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」

会長挨拶 京都洛北RC 佐野会長

幹事報告

会場監督報告

閉会点鐘

<<懇親会>>

開会挨拶 京都洛北RC 佐野会長

乾杯 金沢北RC 吉井会長

## ■金沢市内RC 6月例会変更・休会

金沢RC

6月10日(水) 休会

金沢東RC

6月15日(月) 休会

金沢西RC

6月26日(金) 18:00 ~ 金沢都ホテル「最終夜間例会」

金沢南RC

6月23日(火) 18:30 ~ 会場未定「最終夜間例会」

6月30日(火) 休会

金沢北RC

6月11日(木) 休会

6月25日(木) 18:30 ~ 松魚亭「最終夜間例会」

香林坊RC

6月15日(月) 18:30 ~ 金沢東急ホテル「やれやれ会」

6月29日(月) 休会

みなとRC

6月30日(火) 休会

百万石RC

6月25日(木) 休会

## ■講話予定

●4月30日(木) 休会

●5月7日(木) 上原一美氏

●5月14日(木) 金沢大学名誉教授 広瀬幸雄氏

●5月21日(木) 日本ヨーガ療法学会 理事 河崎幾恵氏

●会長/吉井 清 ●会長エレクト/辻 利陽 ●副会長/松本 範夫

●幹事/佐賀 務 ●副幹事/岩網 大介 ●SAA/中浦 洋昭 ●会計/山上 公介

●クラブ広報委員長/松田 光代

●会員数/52名 ●クラブ設立/昭和48年10月3日

◎例会日/木曜日 12:30~13:30

◎例会場/松魚亭 金沢市東山1-38-30 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273



【表紙作品】二塚長生氏

プロフィール/二塚長生 ふたつか おさお

金沢北ロータリークラブ名誉会員

友禅作家/重要無形文化財保持者



ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH

# 金沢北ロータリークラブ

発行 2015.4.23thu

No.910

事務局/金沢市上堤町1番15号 金沢上堤町ビル3階  
TEL:076-222-2525 FAX:076-224-2882  
E-mail:k-kitarc@angel.ocn.ne.jp  
HPアドレス:http://www.kanazawa-north.jp



# 京都を旅して

## 碧雲荘

会員 辻 利陽

4月2日(木)は、京都洛北ロータリークラブの夜間例会に出席し、厚い持て成しを受けました。4月3日(金)は今回の京都旅行で、皆さんが楽しみにしておりました碧雲荘の見学です。

碧雲荘は、大正6年から昭和3年にかけて二代目野村徳七翁(野村財閥創業者)によって作られた、敷地6,000坪の数寄屋造りの別邸です。庭園は京の庭師の巨匠と言われた、小川治兵衛の作庭、又琵琶湖の疏水を引き込んだ池庭が主体となり、池の周りに建物が17棟囲んでおります。この別邸は国指定重要文化財であり、非公開とのことで、どのような別邸か、期待を膨らませながら、一行21名は碧雲荘に向いました。

しかし、今までの経験で前評判が良すぎるとガッカリすることが多く、少し心配になりましたが、実際庭に入ると、想像以上の庭でした。

赤松を多く使っており、赤松の松葉の手入れは散髪したての髪のように、東山を借景として雄大な庭を築いておりました。また庭には満開のしだれ桜だけが色鮮やかにさいておりましたが、花が少ないようにも思いましたところ、案内の方の説明によると、この別邸のある茶室の花が引き立つように、極力花は植えていないとのことでした。



庭を拝見しながら歩いていると、佐賀先生が驚きの表情をされたので、理由を尋ねましたら、行方不明の貴重な石が此处にあることに驚いたとのこと。その石の謂れは、佐賀先生にお尋ねください。この別邸には17棟の建物がありますが、現在も徳七翁のお孫さんが住んでいるため、久邇宮邦彦親王の宿所の為に建てられた大玄関、能舞台、大書院だけを見学させていただきましたが、次は自分が驚かされました。昔とは言え9間(16m)の台檜の長押があり、屋久杉の畳一枚以上の大きい腰板が何枚もあり、その他にも驚きで見落としたもの、まだまだ沢山あると思います。



最後に帰り際に門のところにあった灯籠が、金沢市金石(私が生まれた地)が生んだ豪商銭屋五平衛の所蔵であったとのこと。徳七翁は財を成したが、戒めとしてこの灯籠を大事にしていたようです。この別邸を見学させていただきましたが、毎日10人の庭師が手入れしていることと、一般公開されていないことで、素晴らしい別邸が維持されていると思いました。

聞くところによりますと、美智子皇后がぜひ訪ねたいと希望され、天皇、皇后両陛下がご訪問されたと聞いております。このような別邸を拝見できたことは、吉井会長の尽力のお陰と深く感謝いたします。

## 京都洛北RCとの合同例会

会員 大場 修

平成27年4月2日、午前7時45分集合。参加者全員遅刻することなく、8時に出発。貸し切りのバスは宴会席を備えた大型バスで、座席にも余裕があり、ゆったりとした旅が始まりました。

出発して間もなく吉井会長のご挨拶、その後すぐに小宴会が始まりました。木村会員が参加されていまして、当然にワイン。大津に着く頃には、酔っぱらっているのではと心配したのですが、そこは立派なロータリアン。乱れることもなく石山寺近くの京懐石の新月さんに到着。

ここでもまたビールで乾杯。食事の後は目的地のひとつ石山寺見学です。その名のとおり山寺ですから、ちょっとした階段や坂道があり、朝からのお酒が効いたのか、階段を昇る途中目が虚ろになっている方も。石山寺に限らず、今回の訪問地とおしてのことですが、歴史的建築物等について吉井会長からの造詣深く、かつ、幅広い説明に、皆さん聞き入っておられました。



今回の訪問では、どこへ行っても桜がほぼ満開。初日は天候にも恵まれました。皆さんの日頃の行いの賜でしょうか。ただ、その分観光客も多く、そのあと向かった平等院で、鳳凰堂入館は数時間待ちとのことで、10円玉のモチーフになっている外観と桜を眺めて、ホテルへ向かうことになりました。



夜は京都洛北RCとの合同例会で、手厚いおもてなしを頂きました。バンド演奏と美味しい料理に金沢北RCメンバー一同、ご満悦の様子でした。京都洛北RCの皆様、有難うございました。

それにしても京都洛北RCに、は若い方が多かったです。平均年齢が高いこと自体悪いこととは思いますが、金沢北RCにも、もう少し若いエネルギーが加わってもよいのかもしれないですね。

## 瓢亭での昼食

会員 中浦 洋昭

碧雲荘の後の昼食は瓢亭でした。

瓢亭は、皆様もご存じの通り約300年前に開業した、京都でも名だたる老舗料亭です。

玄関は、昔の名残がありとても風情がありました。庭には、深い緑に包まれ小川が流れており、我々が入店した時そこで鯉に餌をやっている、ご主人の高橋さんがお迎えしてくれました。

部屋のしつらえは銘々の御膳でしたが、畳に足落としが切っており、なかなか金沢では見られない造りになっていました。

お料理は懐石で、まず一寸豆の木の芽和えと明石の鯛のへぎ造り、刺身には普通の醤油のほかに、オリジナルトマト醤油が供されました。お吸い物はアイナメの葛打ちでとってもおいしい出汁でした。

続いて八寸ですが筍の田楽、白魚、真名鯉の

幽庵焼き、バッテラ寿司、有名な半熟鶏卵(瓢亭卵)が彩りよく盛られていました。

次に季節の野菜と魚介類の白和えで魚介は車海老、帆立の貝柱、鳥貝でウドに春を感じました。さらに筍と若布と鯛子の炊き合わせ、食事は筍ご飯と生湯葉の赤だしと香の物、果物は苺とプティシュークリームの三点盛、薄茶と蓬餅の内容でした。

とっても穏やかで心地の良い時間が流れていたので、召し上がられた会員の皆様きつと満足されたことと思います。

